

# 創立126周年 富多小学校 ありがとう！

本日の閉校記念集会には、春日部市長 石川良三様、春日部市教育委員会教育長 植竹英生様をはじめ、歴代校長の皆様、ご来賓の皆様、卒業生の皆様、多くの教職員並びに地域・保護者の皆様にご臨席をいただきまして、厚く御礼申し上げます。

春日部市立富多小学校の閉校を迎えるにあたり、第36代校長としてひと言述べさせていただきます。本校は、明治25年6月29日に、富多小学校として開校以来、実に126年の間に、4344名の卒業生を送り出すこととなります。卒業生は、地域で、国内外で活躍されております。本校現在の学校教育目標の下、「思いやりのある子」「進んで学ぶ子」「元気でがんばる子」として、知・徳・体のバランスのとれた児童の育成を目指し、教育活動に取り組んでまいりました。

さて、私の中では、校訓ともいえるべき、富多小「**Cha! Cha! Cha!**」を座右の銘として掲げ、4年間過ごしてまいりました。英語の頭文字で「**Cha**」とは、①challenge ②chance ③changeのことです。

一つ目のチャレンジは、よく使われている言葉です。日本語では「挑戦」「検証」「挑む」という訳になります。富小っ子は学習に、運動にと、いつも挑戦し続けてほしいです。

二つ目のチャンスは、文字通り「チャンス」とか「機会」「偶然」「確率」という訳になります。少人数だからこそ、1年間の学校生活には、たくさんのチャンスがあります。ぜひ、そのチャンスを一人一人が活かしてほしいものです。

三つ目のチェンジは、「変化」「交替」「変わる」「捨てる」という訳になります。新たなスタートをきる上で、今までのものを捨てなければならないときも出てきます。クラス替えがない、転入生等も少ない中では、一人一人の意識、気持ちを一新する事がこれからも重要となってきます。

本校では、この「**Cha! Cha! Cha!**」を心の糧にして、素晴らしい先輩の方々、また地域の方々の期待に応えられるように、未来輝く江戸川小中学校の児童生徒として、活躍していただければこんなにうれしいことはありません。

あいさつ、言葉遣い、感謝の気持ち、思いやりやいたわりの心をもつ子供たちは、どこに出してもはずかしくない子供たちです。

間もなくこの富多小校舎の周りにはたくさんの植物、桜が咲き誇ります。その時、いままでのように、子供たちの元気な姿や歓声はありません。

しかし、子供たちはこの富多地区にいます。保護者の皆様、地域の皆様には、これまで同様に、どうか温かい目で子供たちを見守り、支えていただき、地域の宝がさらにより輝くように磨いていっていただくことを強く願っております。

結びに、小学校はなくなっても富多地区の皆様のお知恵とご尽力により、この富多地区の発展と、皆様の益々のご多幸とご健勝をお祈りして、校長挨拶とさせていただきます。

平成31年2月23日

春日部市立富多小学校  
第36代校長 川島 規行